

【令和3年度 科学研究費助成事業 採択状況一覧】

No.	研究種目	部局名	職名	研究代表者名	研究課題名	直接経費 (千円)	備考
1	学術変革領域研究(A)	データサイエンス教育研究センター	助教	西尾 治幾	不規則な環境変動下における花成抑制遺伝子FLCの頑健な制御	3,500	令和3年度新規
2	基盤研究(A)	経済学部	教授	青柳 周一	「菅浦文書」の総合調査及び村落の持続と変容の通時代的研究	—	平成28年度継続
3	基盤研究(A)	データサイエンス学部	教授	竹村 彰通	計算代数統計の方法の性能向上と実用化の推進	6,600	平成30年度継続
4	基盤研究(A)	経済学部	教授	青柳 周一	中近世「菅浦文書」の公開促進と史料学的・文理融合的研究	7,300	令和3年度新規
5	基盤研究(A)	データサイエンス学部	教授	飯山 将晃	オーシャンビジョン：機械学習と機械学習の統合による海洋予測技術の研究	5,800	令和3年度新規
6	基盤研究(B)	教育学部	名誉教授	杉江 淑子	文化的多様性を前提とし活かした教科教材の開発：移民受入れ先進国との比較を通して	—	平成29年度継続
7	基盤研究(B)	教育学部	教授	加納 圭	理科の見方・考え方が習得できる科学教育プログラム開発とICTを用いた評価指標構築	2,400	平成30年度継続
8	基盤研究(B)	教職大学院	教授	藤岡 達也	日本における防災、減災及び復興に関する教育の体系化と持続可能な国際社会への貢献	2,100	平成30年度継続
9	基盤研究(B)	経済学部	名誉教授	宇佐美 英機	伊藤忠兵衛家事業経営関係文書の公開に向けた史料整理と原文書による文書学的研究	2,800	令和元年度継続
10	基盤研究(B)	教育学部	教授	渡部 雅之	身体性と実行機能の関連からみた空間的視点取得の生涯発達と教育・医学的応用	2,300	令和元年度継続
11	基盤研究(B)	経済学部	教授	田中 勝也	農業環境政策における成果運動支払(PbR)がもたらすイノベーションの可能性	4,300	令和2年度継続
12	基盤研究(B)	教育学部	教授	松田 繁樹	幼児の裸足活動時の身体の動きおよび足趾の使い方は靴着用時とどのように異なるか？	1,000	令和2年度継続
13	基盤研究(B)	教育学部	教授	大清水 裕	古代ローマ期北アフリカの農業に関する学際的研究	1,000	令和3年度新規
14	基盤研究(C)	教職大学院	教授	辻 延浩	学校教育における睡眠教育指導者養成プログラムの新規開発と評価	—	平成29年度継続
15	基盤研究(C)	教育学部	准教授	田中 佑美	自己決定理論を用いた異文化経験が英語学習に与える影響	—	平成30年度継続
16	基盤研究(C)	教育学部	教授	大清水 裕	古代北アフリカにおけるヘレニズム王権の生成と終焉	—	平成30年度継続
17	基盤研究(C)	経済学部	准教授	笠井 直樹	監査担当パートナーにおける監査の品質の違いが利益調整に及ぼす影響に関する実証研究	—	平成30年度継続
18	基盤研究(C)	教育学部	教授	林 睦	日本版ギフトドを定義する一才能児の実態把握と基礎資料の収集	—	平成30年度継続
19	基盤研究(C)	データサイエンス教育研究センター	准教授	健山 智子	手術中における医用画像の可視化操作のためのジェスチャーモデル構築とデータベース公開	—	平成30年度継続
20	若手研究(B)	経済学部	准教授	石井 利江子	公共事業における入札制度と工事品質に関する実証分析	—	平成29年度継続
21	基盤研究(C)	データサイエンス学部	教授	和泉 志津恵	医療ビッグデータにおける統計モデルに基づくテキスト解析方法の開発と応用	—	平成29年度継続
22	基盤研究(C)	経済学部	教授	山田 和代	対人サービス技能養成とジェンダー再生産の研究—ベトナム観光産業のジェンダー分析	—	平成29年度継続
23	基盤研究(C)	経済学部	教授	真鍋 晶子	W.B. イェイツ、パウンド、ヘミングウェイと狂言：「笑い」と「間」の詩学	—	平成29年度継続
24	基盤研究(C)	経済学部	教授	野田 昭宏	社会的責任投資の形成メカニズムにおけるCSR会計情報の機能のモデル分析	—	平成29年度継続
25	基盤研究(C)	教育学部	教授	児玉 奈々	カナダの教員養成系大学における多文化教師教育の実施状況に関する研究	—	平成29年度継続
26	基盤研究(C)	教育学部	教授	與倉 弘子	伝統織物の素材特性に基づく新たな感性価値の設計	300	平成30年度継続
27	基盤研究(C)	教育学部	准教授	村田 透	幼児期から児童期を通じた「造形遊び」における探究行動に関する質的研究	500	平成30年度継続
28	基盤研究(C)	経済学部	教授	竹村 幸祐	文化内の「周辺の存在」が果たす役割：多国・多地域データでの検証	0	平成30年度継続
29	基盤研究(C)	教育学部	准教授	篠原 雅史	Ramsey 的手法による極値組合せ論の研究	800	平成30年度継続
30	基盤研究(C)	経済学部	教授	吉田 裕司	為替レート変動と経常収支変動のメカニズムの解明	1,100	令和元年度継続
31	基盤研究(C)	経済学部	教授	岡本 哲弥	次世代自動車技術をめぐる産業構造の変動：ネットワーク分析による実証研究	800	令和元年度継続
32	基盤研究(C)	経済学部	准教授	陳 韻如	東アジアICT企業の競争優位とグローバルバリューネットワークの析出	1,200	令和元年度継続
33	基盤研究(C)	経済学部	教授	鍋倉 聡	シンガポール団地におけるイスラム系住民と非イスラム系住民の共生に関する社会学研究	900	令和元年度継続
34	基盤研究(C)	教育学部	教授	太田 拓紀	大正・昭和初期中等学校の学校紛擾と教育関係・教育文化に関する歴史社会学的研究	800	令和元年度継続
35	基盤研究(C)	データサイエンス学部	教授	市川 治	教室内発話ターニングに着目した授業活性度の可視化	400	令和元年度継続
36	基盤研究(C)	教育学部	准教授	大山 政光	天文分野の理解度と思考力を向上させるための空間認識能力向上プログラムの開発と検証	1,100	令和元年度継続
37	基盤研究(C)	データサイエンス学部	准教授	奥村 太一	ハイブリッド型ベイズアプローチによる単一事例実験のための標本サイズ決定法	300	令和元年度継続
38	基盤研究(C)	教育学部	教授	若松 養亮	大学生の職業選択に作用する「楽しく働きたい」欲求・価値観の解明	600	令和元年度継続
39	基盤研究(C)	教育学部	准教授	長谷川 武博	有限体上のドリフトフェルト・モジュラー曲線の塔から生じる超幾何関数の関数体類似	500	令和元年度継続
40	基盤研究(C)	データサイエンス学部	准教授	川井 明	大型駐車場における駐車時間及び歩行時間を最短にする駐車案内手法の提案と実装	1,000	令和元年度継続
41	基盤研究(C)	データサイエンス教育研究センター	准教授	高柳 昌芳	高分子マイクロ物性の定量的予測の実現に向けた計算化学と機械学習の融合	600	令和元年度継続
42	基盤研究(C)	データサイエンス学部	准教授	松井 秀俊	関数データに基づく経時測定データ解析法の発展	700	令和元年度継続
43	基盤研究(C)	データサイエンス学部	准教授	田中 琢真	アクティブな情報探索の生理的メカニズムの数理的解明	1,300	令和元年度継続
44	基盤研究(C)	教育学部	教授	石川 俊之	落葉リターは湖沼の底生動物の恵みとなるか？セルロース分解と貧酸素耐性による評価	400	令和元年度継続
45	基盤研究(C)	経済学部	教授	菊地 利奈	アジア太平洋戦争下の女性詩—加害と被害、ジェンダー、イデオロギーを巡る総合的研究	500	令和元年度継続
46	基盤研究(C)	データサイエンス教育研究センター	講師	池之上 辰義	特定保健指導のアウトカム最適化を目指すAIを活用した大規模テキストデータ解析	1,400	令和元年度継続
47	基盤研究(C)	経済学部	教授	真鍋 晶子	笑いと鎮魂の詩学：能狂言とアイルランド W.B. イェイツ、小泉八雲、パウンド	900	令和2年度継続
48	基盤研究(C)	経済学部	教授	野瀬 昌彦	ニューギニア諸言語における現実と非現実の意味と形式に関する統合的研究	800	令和2年度継続
49	基盤研究(C)	経済学部	教授	御崎 加代子	ワルラスにおけるリスク・不確実性・企業者—一般均衡理論の思想的解明	700	令和2年度継続
50	基盤研究(C)	経済学部	教授	佐野 洋史	産婦人科・小児科における医師が重視する勤務条件の解明と有効な就業促進策の導出	1,400	令和2年度継続
51	基盤研究(C)	経済学部	准教授	菊池 健太郎	無裁定国際証券価格モデルに基づくグローバルファクターの抽出とリスク分析	500	令和2年度継続
52	基盤研究(C)	経済学部	准教授	竹中 厚雄	日系多国籍企業における研究開発活動の国際化・オープン化に関する研究	700	令和2年度継続

53	基盤研究(C)	経済学部	教授	野田 昭宏	CSR情報開示が企業の社会的責任活動に与えるフィードバック効果の解析	1,000	令和2年度 継続
54	基盤研究(C)	研究推進機構	研究員	柏尾 珠紀	女性農業者の技術の再評価と女性農業リーダー育成システムに関する社会学的研究	900	令和2年度 継続
55	基盤研究(C)	教育学部	准教授	藤村 祐子	教員の専門職基準に関する日米比較研究	1,800	令和2年度 継続
56	基盤研究(C)	教育学部	准教授	渡邊 慶子	中高一貫教材を用いた「証明すること」を核とする授業の構成原理に関する研究	600	令和2年度 継続
57	基盤研究(C)	教育学部	准教授	長岡 由記	自己学習力を育成する文字教育モデルの構築—学習者の文字学習方略を中心に—	500	令和2年度 継続
58	基盤研究(C)	教育学部	教授	岳野 公人	創造性育成のための技術教育におけるSTEM教育プログラムに関する研究	600	令和2年度 継続
59	基盤研究(C)	教育学部	教授	恒川 雅典	実感を伴う作図により物理法則の理解を促進させるピア学習の実践と検証	900	令和2年度 継続
60	基盤研究(C)	教育学部	准教授	森 太郎	データ駆動型アプローチによる在来作物の栽培学習プログラムの開発	800	令和2年度 継続
61	基盤研究(C)	教育学部	教授	芦谷 道子	英国で開発された子ども向けマインドフルネスプログラムの日本への導入	1,000	令和2年度 継続
62	基盤研究(C)	データサイエンス学部	准教授	寺口 俊介	T細胞受容体の抗原エピトープを予測する機械学習システムの開発、検証、及び、応用	900	令和2年度 継続
63	基盤研究(C)	データサイエンス教育研究センター	助教	藤澤 知親	画像解析と群集メタバーコーディングによる統合的 생물多様性モニタリング法の開発	600	令和2年度 継続
64	基盤研究(C)	教育学部	教授	大平 雅子	乳児における唾液中のホルモン分泌を用いた睡眠評価手法の開発	1,300	令和2年度 継続
65	基盤研究(C)	データサイエンス学部	准教授	村松 千左子	個別化医療を目指した乳腺画像のラジオミクス解析	800	令和2年度 継続
66	基盤研究(C)	経済学部	教授	道上 静香	学校体育・スポーツ現場におけるICTを活用した教育支援システムの開発と実用化	900	令和2年度 継続
67	基盤研究(C)	データサイエンス学部	教授	椎名 洋	標本数問題に関する情報幾何学的アプローチ	500	令和2年度 継続
68	基盤研究(C)	データサイエンス学部	教授	清水 昌平	未観測共通原因が存在する場合の巡回因果モデル推定法の研究と応用	400	令和2年度 継続
69	基盤研究(C)	経済学部	教授	福浦 厚子	宗教職能者の憑依とジェンダーの位相に関わる研究	500	令和2年度 継続
70	基盤研究(C)	教育学部	教授	二宮 美那子	初唐から中唐における園林文学の変遷に関する研究	600	令和3年度 新規
71	基盤研究(C)	経済学部	名誉教授	三ツ石 郁夫	戦後西ドイツ経済成長期における中間層企業と地域構造政策の展開に関する史的経緯	1,300	令和3年度 新規
72	基盤研究(C)	経済学部	教授	小野 善生	中小企業の組織変革に関する研究	900	令和3年度 新規
73	基盤研究(C)	教職大学院	教授	大野 裕己	VUCA時代における学校経営様式と支援ネットワークの変化に関する開発的研究	400	令和3年度 新規
74	基盤研究(C)	教職大学院	教授	辻 延浩	健康体力分析支援システムの開発と教科内融合プログラムの効果検証	1,200	令和3年度 新規
75	基盤研究(C)	教育学部	教授	右田 正夫	ロボットの身体性を通じたプログラミング的思考力の獲得に関する研究	300	令和3年度 新規
76	基盤研究(C)	教育学部	教授	穂積 俊輔	扁長ハロー中の銀河円盤に励起されるウォーブの維持に関する研究	1,500	令和3年度 新規
77	基盤研究(C)	データサイエンス学部	教授	杉本 知之	不完全情報を伴う多次元の事象時間データの推測と機械学習法	1,100	令和3年度 新規
78	基盤研究(C)	データサイエンス教育研究センター	准教授	健山 智子	顔面形態変化観測のための標準顔形態生成と可視化、および顔面浮腫診断支援への応用	1,900	令和3年度 新規
79	基盤研究(C)	データサイエンス学部	教授	佐藤 智和	動画画像からの三次元復元におけるパラメータの自動決定に関する研究	900	令和3年度 新規
80	基盤研究(C)	教育学部	准教授	安藤 哲郎	古代・中世の古典の舞台に関する地理学的分析と成果を活用した旅のプランの創造・提案	400	令和3年度 新規
81	基盤研究(C)	データサイエンス教育研究センター	助教	三井 真吾	統計的解析手法による転がり疲労の定量的評価技術の開発	1,200	令和3年度 新規
82	若手研究(B)	経済学部	准教授	衣笠 陽子	地域医療を支えるソーシャル・キャピタル統合型管理会計システムフレームワークの研究	0	平成27年度 継続
83	若手研究(B)	教育学部	准教授	宮本 結佳	持続可能な地域づくりに寄与するアートプロジェクトの展開可能性に関する研究	—	平成28年度 継続
84	若手研究	経済学部	准教授	大村 啓喬	「旗の下の集結効果」に関する実証分析	800	令和元年度 継続
85	若手研究	経済学部	准教授	北田 真紀	日本の製造業におけるイノベーションと環境業績の関係についての研究	100	令和元年度 継続
86	若手研究	国際交流機構	特任講師	田村 あずみ	3・11後の社会運動の国際的意義—民主主義の危機における「身体性の政治哲学」構想	300	令和元年度 継続
87	若手研究	データサイエンス教育研究センター	助教	山口 崇幸	感染などの明確な要因が誘発する癌の罹患率予測を実現する人口学モデルの構築と実装	800	令和元年度 継続
88	若手研究	経済学部	特任講師	小倉 圭	野球の内野手におけるバックハンド捕球の有効性の検証	100	令和元年度 継続
89	若手研究	データサイエンス教育研究センター	助教	石川 由羽	リアルタイム誘発脳波抽出手法	300	令和元年度 継続
90	若手研究	教育学部	准教授	于 一楽	非典型的な項の具現に関する語彙意味論研究	700	令和2年度 継続
91	若手研究	教育学部	准教授	羽山 裕子	知的障害児童生徒の目標・評価システムへの包含—アメリカ合衆国での理論形成と課題	500	令和2年度 継続
92	若手研究	教育学部	准教授	山本 一成	「生態想像力」を軸とした幼小接続期のESD実践理論と実践支援ツールの開発	700	令和2年度 継続
93	若手研究	データサイエンス教育研究センター	准教授	江崎 剛史	生物学的利用率の予測モデル構築：精査済みIn vitroデータからの転移学習	1,100	令和2年度 継続
94	若手研究	データサイエンス学部	准教授	伊達 平和	アジア家族の比較分析に関する方法論の構築—家父長制尺度の妥当性と中間回答を中心に—	1,000	令和2年度 継続
95	若手研究	教育学部	准教授	蔵永 瞳	代理的怒りと代理的感謝の競合：外集団成員に対する攻撃抑制の試み	1,100	令和3年度 新規
96	若手研究	データサイエンス教育研究センター	助教	西尾 治幾	ヒストン修飾による季節的な遺伝子制御の進化プロセス	500	令和3年度 新規
97	挑戦的研究(萌芽)	経済学部	教授	澤木 聖子	「ながらワーカー」をめぐる個人と組織の統合可能性に関する研究	—	平成30年度 継続
98	挑戦的研究(萌芽)	教育学部	教授	加納 圭	自由研究・探究を促すSTEM教育教材活用アクティブラーニング型授業の開発	1,700	令和元年度 継続
99	挑戦的研究(萌芽)	役員	学長	位田 隆一	人工知能(AI)の利用がもたらす生命倫理問題—全体像把握と今後の研究方向提示	2,300	令和2年度 継続
100	挑戦的研究(萌芽)	データサイエンス学部	教授	竹村 彰通	ゲーム論的確率論に基づくモデルフリーの数理ファイナンス理論の展開	1,500	令和3年度 新規
101	基盤研究C 独立基盤形成	データサイエンス学部	准教授	村松 千左子	個別化医療を目指した乳腺画像のラジオミクス解析	—	令和2年度 継続
102	基盤研究C 独立基盤形成	データサイエンス教育研究センター	准教授	健山 智子	顔面形態変化観測のための標準顔形態生成と可視化、および顔面浮腫診断支援への応用	700	令和3年度 新規
103	研究活動スタート支援	教育学部	講師	滝井 未来	状況的学習論を用いた留学生の卒業後を見据えた社会参加への道筋構築	900	令和2年度 継続
104	特別研究員奨励費	教育学部	PD	川本 彩花	音楽が現代社会の問題解決に資する可能性についての社会学的研究	1,000	令和元年度 継続
計 104 件						101,100	